

静岡県立静岡視覚特別支援学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年9月28日(木)

9月28日(木)、静岡県立静岡視覚特別支援学校を訪問し、中学部1, 2年生の皆さんを対象に、古代の人々の生活を体験する「火起こし体験」と本物に触れる「土器ふれあい体験」を行いました。2週間後に実施する自然教室の予行演習も兼ねた「火起こし体験」でした。当日は予定していた、起こした火での飯盒炊爨は雨模様で中止となってしまいましたが、友達や先生と協力して全員火を起こすことが出来ました。本物の土器にも触れて、古代の人々の生活や歴史に興味関心をもつことができたようです。

火起こし体験

舞hiri式による火起こしについての解説を聞いた後、いよいよ火起こしです。

まずは火口の麻の繊維を準備し、火起こし道具を使って火種作りに挑戦です。友達や先生と協力して、はずみ車を回転させます。これが、なかなか大変で、最初はうまく回転しませんでした。



なかなか火種ができませんでしたが、コツを覚えると、次々と火種が出来ました。しかし、ここからが大変、火種に息を吹きかけ炎にするのに、煙が鼻や喉を刺激し、うまく吹けず炎になりません。でも、一人がつくと、次々に火がつきました。

天気がよければ起こした火でご飯が炊けたのに、残念！！



小学生も興味津々 集まってきました